

施策	2202 衛生環境の充実						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	余地有	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	都賀聖地公園の整備、既存墓園の適正な維持・管理、斎場の再整備の検討等を進める。						
成果指標	斎場・墓地に関する年間苦情件数...5年間で0件（現状値6件）						
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [件]	予定	6.00	5.00	3.00	2.00	0.00
		実績	6.00	4.00	2.00	3.00	
	成果指標2 []	予定					
		実績					
	成果指標3 []	単位コスト					
		予定					
	成果指標4 []	実績					
		単位コスト					
	トータルコスト (千円)	予定	512,397	505,103	450,148	565,930	
実績		469,094	476,710	432,668	581,421		
内 部 評 価	貢献度	上位施策の目標指標「斎場墓地に対する満足度」を50%に向上させるためには、年間苦情件数の減少が必要であり、本単位施策の目標達成度による貢献度は高い。					
	達成状況	墓地・斎場は、苦情が増え目標達成とはならなかった。新斎場は、スケジュールの見直し、測量・地質調査を完了し、現在環境アセス・PFI導入可能性調査を実施している。					
	課題	市営墓地は、現在空きがないことから、市民の需要に追い付いていない状況である。新斎場は、スケジュール実現のため、事業手法・都市計画決定等の事務を確実に履行する。					
	取組方針	市営墓地は、適正な維持管理を行うとともに、拡張・新規整備の可能性を検討する。新斎場は、H33年度末供用開始を目標に事業発注等の具体的作業を進める。					
外 部 評 価	<p>現在の斎場は火葬の予約が集中すると、希望どおりの日時予約が取れなかったり、待ち時間が長いという課題が見受けられる。新斎場が完成するまでは利用者等からの苦情は真摯に受け止め、改善できる点は順次改善していくべきである。</p> <p>市営墓地は現在空きがないため、市民の需要に追い付かない状況であるならば、樹木葬など新しい墓地の研究や整備について検討を行う必要があると思う。また、高台にある市営墓地については、急な階段は高齢者にとってきついで、スロープや手すりなどの整備が必要である。</p>						
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	152201	聖地公園管理費				22,656	100
	152301	斎場管理運営委託事業費				40,291	100
	152701	聖地公園管理基金積立金				85,488	100
	153003	墓地管理費（藤岡）				1,283	100
	153005	墓地管理費（西方）				1,534	100
	155701	し尿収集事業費				785	100
	155801	公衆便所管理費				5,602	100
	156601	衛生センター管理運営委託事業費				273,509	100
	152601	斎場再整備事業費				39,384	95
152101	聖地公園永代使用料還付金				340	1	

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	040104	予算事業コード	152601	事業区分	01	投資的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	斎場再整備事業費										主	2202	生活環境の充実	衛生環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 斎場整備室 斎場整備係					担当者	津布楽真克					従			
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等			事業期間	H24 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	5,948,404		千円			
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 市町合併や超高齢社会の進行に伴い、増加が見込まれる将来の火葬需要や現斎場の老朽化に対応するため、斎場の再整備を行う。 学識経験者や地域代表者等による「栃木市斎場再整備検討委員会」を組織し、事業内容等について検討を行い、円滑な事業推進を図る。 【主要事業】					達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) 人生の終焉に相応しく、利用者心情や利便性・機能性に配慮した新斎場を建設する。								
	成果目標	斎場・墓地に関する年間苦情件数...5年間で0件(現状値6件)													

単位：千円、人		平成27年度決算額	平成28年度決算見込	事業の内容 その成果		平成27年度		平成28年度							
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0	【事業の内容】 ・最終候補地に係る市の意思決定を行う。 ・建設予定周辺の住民説明会を行う。 【成果】 ・栃木市新斎場候補地選定会議の協議結果を踏まえ、本市所有地である「旧南部清掃工場跡地」を選定した。延べ7回の地元説明会を実施した後、新斎場建設予定地と決定した。					【事業内容】 ・近隣住民の皆様と連携を密にし、新斎場建設に係る関係法令の調整や各種業務委託の実施を行う。 地質・測量調査 PFI導入可能性調査 環境影響評価調査 関係法令調整事務等 【成果】 ・地質、測量調査を完了した。PFI導入可能性調査、環境影響評価調査はH28~29年度継続事業として委託契約を締結した。 ・地元説明会、先進地視察を各2回実施した					
	県支出金		0	0											
	地方債		0	0											
	その他特財		0	0											
	一般財源		290	16,884											
	事業費 a		290	16,884											
	人件費 b		22,500	22,500											
減価償却費 c		0	0												
総事業費 a+b+c		22,790	39,384			指標名	算出方法		単位	事業の事後評価					
結果指標 1		1.00	2.00	検討委員会開催回数	会議開催数 H28目標値 3回			回	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地	
結果指標 2		0.11	0.45	斎場整備に関する事業進捗率	全体事業費に占める執行費率 H28目標値 0.47%			%	妥当	無	適正	有効	無	有	

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・建設に係る各種業務委託をスムーズに行う。 ・関係法令の調整や許認可等について関係各課等との連携を密にし、計画的に事務を進める。														

事後評価備考															
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--